

令和7年6月扶桑町議会定例会 一般質問通告書一覧

6月6日(金) 午前9時30分～

受付番号	通告者氏名	質 問 事 項
1	山田 惇起	1. チョイソコふそうについて 2. サイトメガロウイルスについて 3. 町民の目について
2	佐藤 智恵子	1. 学校プールの維持管理と水泳授業について
3	高橋 怜央	1. 命の大切さ教育と今後の取り組みについて
4	伊藤 猛	1. ごみ問題と鳥獣害対策について 2. 保育園の外周美化環境について 3. こども誰でも通園制度について
5	片野 泰雅	1. 中学校部活動の将来展望について 2. シビックプライドの向上とふるさと応援プログラムによるふるさと納税額増額に向けて

6月9日(月) 午前9時30分～

6	間宮 幹男	1. 「第3次健康日本21」について
7	荒木 孝三	1. 町道の交通安全対策について 2. タクシー補助券（制度）の見直しについて 3. 水道基本料金無償化の継続について
8	兼松 伸行	1. 本町の熱中症対策について
9	千田 勝文	1. 財務諸表から見る財政状況について
10	大河原 光雄	1. 本町の公有財産の現状と有効活用について

令和 7 年 6 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 山 田 惇 起

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. チョイソコふそうについて	(1) 本町における高齢者の定義は。 (2) チョイソコふそうの料金体系について ア. 65歳以上の乗車料金を軽減している根拠は。 イ. 年齢ではなく状態で高齢者を定義した料金体系を導入する考えは。 ウ. ダイナミックプライシング導入の考えは。 エ. 参院選に向けて運用変更することは。
2. サイトメガロウイルスについて	(1) どのように啓発をしていくか。 (2) 妊娠をしている保育士の業務上の配慮は。
3. 町民の目について	(1) 小中学生の視力について ア. 本町小中学生の視力の現状は。 イ. タブレット端末への工夫は。 ウ. 医療機器としての眼鏡を学校の授業で扱えないか。 (2) 点字ブロックについて ア. 本町の点字ブロックには何色が相応しいか。

令和 7 年 6 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 佐 藤 智恵子

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 学校プールの維持管理と 水泳授業について	(1) 小中学校のプールの維持管理の現状と課題 ア. 建設年数、年間使用日数は。 イ. 老朽化状況と耐用年数の見通しは。 ウ. 年間の維持管理費は。 (2) 水泳授業について ア. 学習指導要領上の位置づけと授業の実施状況。 イ. 実施する際の先生の負担と安全対策は。 (3) 民間施設の活用や水泳指導の外部委託の考えは。 (4) 今後のプールの在り方と水泳授業の実施体制の 方針は。

令和 7 年 6 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 高 橋 怜 央

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 命の大切さ教育と今後の 取り組みについて	(1) 町内における児童・生徒のメンタルヘルスの現状把握について ア. 学校現場におけるいじめ・不登校に関する相談件数の推移はどうか。 イ. スクールカウンセラーやソーシャルワーカーによる対応体制はどのように整えているか。 (2) 中学生による重大事件の背景と、扶桑町におけるリスク対策について ア. 全国的に中学生が加害者となる重大事件が報道されているが、扶桑町において同様の事態がおきないように、どのような考えを持っているか。 (3) 自殺予防に関する具体的な取り組みについて ア. 児童・生徒の自殺予防について、どのような取り組みをしているか、また啓発活動、相談体制を整備しているか。 イ. 学校現場での「SOSの出し方教育」や、保護者向けの啓発は行っているか。

令和 7 年 6 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 伊 藤 猛

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. ごみ問題と鳥獣害対策について	(1) 鳥獣害対策について ア. 町内におけるカラスの繁殖状況は。 イ. カラスやヒヨドリ等による農作物への被害状況は。 ウ. カラスによるごみ集積所への被害状況は。 エ. ごみの出し方などの周知は。 オ. カラスの駆除対策は。 (2) 年末年始の可燃性ごみ出しについて。
2. 保育園の外周美化環境について	(1) 保育園の外周景観について ア. 各保育園の外周美化環境は。 イ. 斎藤保育園の外壁・フェンスについては。
3. こども誰でも通園制度について	(1) こども誰でも通園制度について ア. この制度の問題点と課題事項は。 イ. シルバー人材センターの「ころころルーム」との関係はどうか。 ウ. 斎藤保育園で実施されるが、利用者等の駐車場確保はどうか。

令和 7 年 6 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 片 野 泰 雅

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 中学校部活動の将来展望 について	(1) 地域移行から地域連携・展開への変遷について ア. 扶桑町の方針は。 イ. 計画の現状と展望は。 (2) 予算について ア. 地域クラブ活動推進事業委託料の内容は。 イ. 地域クラブ活動推進事業委託料の財源内訳は。 ウ. 部活動指導員の役割は。 エ. 部活動指導員の人件費は。 オ. わっと楽しくスポーツふそうの収支状況は。 (3) 地域クラブ活動の現状と今後について ア. 令和 7 年度開始の部活動は。 イ. 最終的な部活動連携の意義は。 ウ. 移行による教師の負担軽減状況は。
2. シビックプライドの向上 とふるさと応援プログラ ムによるふるさと納税額 増額に向けて	(1) 扶桑町のシビックプライドについて。 (2) 扶桑町で生まれ育った若者の定住応援制度につ いて ア. 18 歳から 30 歳までの転入転出状況は。 イ. 全体の転入転出状況は。 ウ. 扶桑町で生まれ育った若い世代に向けた定住 促進施策は。

質 問 事 項	質 問 要 旨
	エ. 扶桑町で生まれ育った若者の応援制度創設は。 オ. 同窓会応援金の創設は。 (3) ふるさと納税の使途項目について ア. そもそも何のために作られた制度なのか。 イ. ふるさと納税の3つの大きな意義は。 ウ. 使途目的はわかりやすく掲載されているか。 (4) ふるさと納税額の増額策について ア. 享受した住民サービスについて。 イ. ふるさと納税の現状について。 ウ. ふるさと応援プログラムの導入は。

令和 7 年 6 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 間 宮 幹 男

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 「第3次健康日本21」 について	(1) 取り組みについて ア. 計画の策定には法的な義務規定があるか。 イ. 第3次に向けた健康課題はどのようなものがあるか。 ウ. 健康課題の本町の取り組みは。 (2) 施策について ア. 「ふそう健康マイレージ」の現状と推進策は。 イ. 「健康づくりリーダー」の活動内容と育成は。

令和 7 年 6 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 荒 木 孝 三

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 町道の交通安全対策について	(1) 生活道路の交通規制は。 (2) 交通補助器具等の補修点検は。 (3) 歩道の整備状況は。
2. タクシー補助券（制度） の見直しについて	(1) 複数枚利用の拡大の考えは。 (2) 初乗り料金の是正は。
3. 水道基本料金無償化の継続について	(1) 町の見解は。

令和 7 年 6 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 兼 松 伸 行

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 本町の熱中症対策について	(1) 公共施設の熱中症対策の現況と今年度の対策は。 (2) 各小中学校及び保育園の熱中症対策の現況と今年度の対策は。 (3) ファン付作業着の導入の考えは。 (4) A I によるカオカラ導入の考えは。

令和 7 年 6 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 千 田 勝 文

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 財務諸表から見る財政状況について	(1) 財務諸表（４表）の各種指標データについて ア. 住民一人当たりの資産額・負債額・純経常行政コストは。 イ. 有形固定資産減価償却率（資産老朽化比率）は。 ウ. 将来世代負担比率は。 エ. 地方債の償還可能年数は。 オ. 基礎的財政収支（プライマリー・バランス）は。 カ. 受益者負担割合は。 キ. 行政コスト対財源比率は。 (2) 財務諸表の各種指標データの分析から、予算に対して、どのような取り組みを進めているのか。 (3) 財務諸表の各種指標データの分析から、持続可能な行政運営の取り組みの考えは。

令和 7 年 6 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 大河原 光 雄

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 本町の公有財産の現状と有効活用について	(1) 公有財産の現状について ア. 本町の公有財産の状況及び近年の増減はどうか。 イ. 町全体で、どのくらいの普通財産があるのか。 ウ. 貸付などに利用されている普通財産はあるか。 エ. 本町の財産収入の近年の推移は。 オ. 普通財産の維持管理にかかる経費はあるか。 (2) 公有財産の有効活用の取り組みについて ア. 未利用の行政財産の現状は。 イ. 今後、用途廃止予定の行政財産はあるか。 ウ. 今後の公有財産の有効活用の取り組みと考え方は。